

令和5年度 保育園事業報告

社会福祉法人 櫻心会
おひさまリリー保育園

新型コロナウイルスは相変わらず猛威をふるい変異株が出現し、感染拡大を防ぐために様々な対策をとりながら日々の保育を行ってきた。そんななか不適切保育などさらに保育現場を脅威へと導く問題が発生し、子どもの命を守ることの使命を改めて感じる1年となった。また世の中は、少しずつウイズコロナの新生活様式が定着し、研修も保育協会のIT委員会先生方のお陰で、オンライン研修を行うことができたので参加しやすい研修となった。職員の研修においては、キャリアアップ研修を含め殆どリモート方式で参加した。専門的な知識・技術習得の必要性について学ぶことができた。また、保育士の処遇が更に良くなったことに感謝したい。

コロナ禍のため、保護者を招いての行事はなかなか出来なかったが、毎日の保育においては、職員の工夫により園児にとって充実した毎日が送れたように思う。

1. 家庭や地域社会との連携について

- (1) 保育園と家庭との連携を密にするため「クラスだより」・「園だより」を毎月発行した。園からのお便りは毎日の保育の様子や献立をアプリで配信することで、保育に対する各家庭の理解と協力を求めた。子どもたちの様子を写し可視化していく事で各家庭から好評を頂いた。
- (2) プランターに花を植え、手紙を添えて近くの老人施設にプレゼントした。とても喜んでもらった。
- (3) コロナ禍のため感染予防を十分に行い、運動会・発表会は保護者や祖父母を招いて行った。

2. 保育活動について

- (1) 働く母親が増加する中、家庭での親子の触れ合いが少ない今、保育士はそれぞれの子どものスキンシップに心がけ児童の情緒の安定を図り、明るく思いやりのある元気な子を目標に努力した。
- (2) 近くの畑を借り、菜園活動に力を入れた。収穫した野菜をクッキング保育において自分達で調理し、食べることで食育の大切さを教えた。
- (3) 体操教室を月3回(火曜日)行った。幼児期は一番神経系が発達する時期だと言われている。リズム運動で体を柔軟にし、多種多様な運動スポーツがライフスタイルの一部となり、好きになり、自信をつけ、心と体を鍛え健康な子どもに育つことを願って行った。
- (4) 英語教室を月3回(木曜日)行った。3歳までは、どんな音でも聞いたままに

オウム返しできる。また、あらゆる言語の習得が可能である。英語を言葉ではなく音として聞く事。乳幼児英語教育の経験豊富なカヨコ先生と本物の英語で触れ合う時間を大切にした。

- (5) 和太鼓を購入し、太鼓教室を月3回（金曜日）行った。和太鼓に触れることで日本古来の文化を伝承し、その響きやリズムやいろいろな打ち振りの動きを楽しみながら集中力を養った。運動会や発表会で披露することが出来とても喜んで貰えた。
- (6) 保育参観はコロナウイルス感染症拡大予防のため中止した。

3. 給食について

子どもの発育に必要な栄養のバランス及び栄養量を考慮し、献立を作成した。また、子ども達が喜んで食べるように色彩感あふれる給食を出した。毎日の昼食をアプリ配信したので、とても保護者に喜んで貰えた。

4. 職員研修について

コロナ感染拡大予防のためリモート研修会に多く参加し、職員の資質の向上に努めた。また、職員会議において出張報告を行った。

5. 保険、安全等について

- (1) 嘱託医に依頼して、園児に健康診断検診を2回・歯科検診を1回実施し治療の必要な子は治療してもらった。
未受診の子どもについても後日病院に連れて行き全園児についても健康状態の把握を行った。
- (2) 職員の健康診断も全職員受診した。
- (3) 保育環境の整備については、いつも園庭の花を絶やさないように努めた。

6. 地域活動

- (1) 地域のボランティア活動に職員が参加し近くの道の清掃活動を行った。